

総合病院門前薬局利用患者の調剤併設ドラッグストアに対するイメージ～患者アンケートより～

○深津 英人¹, 高田 智¹, 北井 実香¹, 齋藤 聡夫¹, 安達 士郎¹, 前嶋 克幸¹,
尾関 佳代子¹, 野嶋 芳紀¹, 二橋 純一¹(¹杏林堂薬局)

<目的> 以前、我々は調剤併設型ドラッグストアの調剤コーナー利用者にとって、買い物ができることは薬局選択理由のひとつに過ぎず、家が近い、帰り道であるなど立地、コンビニエンスが優先される利用理由であることを示唆した¹⁾。そこで今回、総合病院門前薬局利用者を対象にどのようなことを重要視して薬局を選択するのか、また、調剤併設型ドラッグストアを利用することをどのように思っているのかについてアンケート調査をおこなった。

<方法> 平成23年4月に浜松市内総合病院門前薬局を中心に7店舗において800枚のアンケートを無作為に配布し、自記式郵送法により回収をおこなった。

<結果> アンケートは570枚が回収され、アンケート回答者は初めての利用が5.4%、6回以上利用が69.1%であった。6回以上利用者のうち、90.4%は毎回必ず利用していた。次に今回利用した理由として「弊社であったから」(277票)、「説明が親切・丁寧だと思ったから」(253票)、「いつも利用しているから」(240票)が上位を占めた。また、調剤併設ドラッグストアを利用したことがあるかの問いでは「ある」という回答は21.6%に過ぎず、半数以上が「ない」と回答した。しかし、「ない」と回答した方のうち、75.6%が利用に前向きな回答を示した。

<考察> 調剤併設ドラッグストアでの結果同様、総合病院門前薬局でも高いリピート率が確認された。利用者は一度決めた店舗を継続利用する傾向が強いことが予想される。総合病院門前薬局は複数店舗が横並びになることが多いため、知名度や接客対応が重要視される可能性が示唆された。総合病院門前薬局を好む利用者がいる一方、TPOに合わせて薬局を選択したい考えを持つ利用者も多いことが示唆された。1)日本社会薬学会第30年会